

同友ごてんはかわら版

県事務局御殿場支部担当 佐藤 靖真

< 第 289 回 > 3 月支部例会報告 (H21.3.11 / 水)

『不況をふっとばせ！！』 ～ 今を乗り切る語りべの一夜～

(パネラー) 長島 晃一氏 (株)長島文宝堂 / 勝俣 充徳氏 (株)タツミエンタープライズ
高橋 利典氏 社会福祉法人 博友会 / 林 則夫氏 (株)林組

(コーディネーター) 鈴木 美男氏 (有)萬年堂



<報告中の様子>



<バズセッション中の様子>

3月11(水) 第289回 今年度最後の御殿場支部例会が開催されました。

昨年9月のリーマン・ブラザーズ破綻に端を発した金融危機。その影響はアメリカに留まらず、世界的な金融危機にまで発展しています。この経済危機を乗り切るため、ベテラン会員4名をパネラーとしてお招きし、経営者として経験談や、いかにして苦難を乗り越えてきたのかという体験談をお話していただきました。

まず、パネラーの方々が自社の現状と取り組んでいる事業活動について報告をしていただきました。

やはり、「厳しい」、「事業規模の縮小」という意見も聞かれましたが、この不況はピンチだけではなくチャンスも持っているとの意見もありました。例えば、人材採用の面で考えると求職活動をされている人が多くなっており優秀な人材を確保しやすくなっている点があるようです。また、自社が営業活動で有利になる為に会社としての信頼度を上げる努力をし、公的な認証を取得見込みの方もおり、実際に商談がまとまりそうだとの意見もありました。経営者としての失敗談も赤裸々に報告をしていただきました。社員に「まかせた」経営を実践したら社員主体の会社となり、P・D・C・AのCが抜けてしまい顧客獲得を逃してしまったことや、商談成立後の決済方法でたった1度の決済方法変更で、会社に損害をだしてしまった事などを報告していただきました。

100年に1度と言われる経済危機を乗り越えるためには、中同協の緊急アピールにあったように「早急な資金手当て」、「危機感の社内共有」、「全社一丸体制」、「同友会の活用」が上げられています。この状況を乗り切るには、全社員の協力が必要不可欠で、社員の協力をより強固なものにする為に社員のモチベーションを上げる努力は必要だとの意見がでました。

根上監事の総評では、業種は違っても今、元気のある会社は社員のモチベーションが高く、そのモチベーションには、トップの人材性と関係している点とトップの先見性がしっかりしている事。これらが大切であると話していただきました。

(インフォメーション) 御殿場支部総会のお知らせ 4月8日(水) 17:30 受付開始 会場/ホテル御殿場館 21